

【NICU・西6階病棟合同 子どもの在宅移行支援勉強会アンケート集計結果】

2016.9.8 開催

回収率：97.5% (39/40)

1. 職種

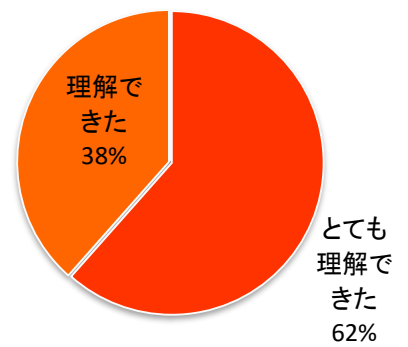
医師	看護師	その他	計
11	25*	4	40

※ 西6階病棟：13名 NICU：7名 小児科外来：3名 手術部：1名 救命センター：1名

2. 講義の内容は理解できたか。

とても理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	全く理解できなかった	未記入
24	15	0	0	0

1. 講義内容は理解できたか



【理由】

- ・実際に受け持っていた子どももいたため、症例が理解しやすくスライドも要点がまとめられており分かりやすかった。
- ・小児科経験が少ない中で、小児の退院後の姿や、訪問看護師の必要性を学ぶことができた。実際の症例の紹介で、具体的にどのように介入しているのかが分かった。
- ・症例を挙げたうえで介入までの流れもあったのでわかりやすかったです。
- ・事例もあり、とてもわかりやすかったです。
- ・訪問看護の役割がよくわかりました。
- ・具体的な訪問看護の様子がよくわかった。
- ・現状がよくわかりました。
- ・実際の訪問看護の様子や介入を知ることができた。
- ・退院後も病院看護師が訪問できることがわかった。
- ・わかりやすい内容。現場の声がよくわかった。
- ・訪問看護の介入から退院後の支援までよくわかりました。

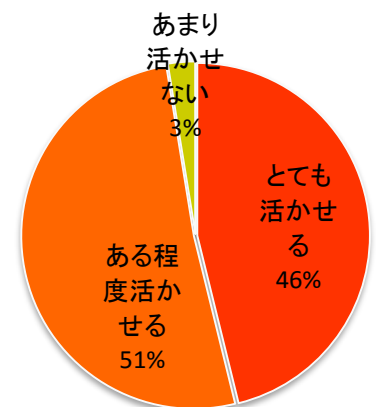
3. 講義での学びを今後の活動に活かせるか。

とても理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	全く理解できなかった	未記入
18	20	1	0	0

【理由】

- ・まだ1年目なので実際に在宅移行支援に関われることは多くないと思うが、訪問看護が誰でも利用できることを伝えたり、訪問看護が必要なのでは？と考え、師長や主治医などに相談することで、知ったことを活かしていけると思った。
- ・あまり医療処置が必要でない患児でも依頼できることがわかったので、不安の強い方などにも紹介できると思いました。
- ・現在の部署では活用する機会はないかもしれないが、今後部署変更など一般病棟への異動の際は活かしたいと思った。
- ・自分の部署では活かせる事は少ないような気がしますが、今後の看護人生で活かしていきたいと思いました。

2. 講義内容は実践で活用できるか



- ・在宅医療が必要な入院児の退院後を考える上で、良い機会になりました。
- ・今後、退院していくお子さんたちへの支援を知って、伝えていけるので知れてよかったと思いました。
- ・活用できる内容を考えていきたい。
- ・入院している児へ訪問看護について、積極的に声かけして地域でも安心して過ごせるように介入できそう。
- ・訪問との連携方法。
- ・ケアが必要でなくても訪問看護ができることを知り、不安のある母にすすめることができる。
- ・患者への情報提供
- ・ステーションとの関わり方
- ・在宅支援の必要となる子はこれからもいると思うので、とてもためになりました。

4. 本日の勉強会を通しての感想、意見

- ・実際の在宅医療の現場を知ることができ、今後の在宅医療を活用する際に、よりイメージをもって依頼することができるようになると思います。貴重なお話をご提供頂きありがとうございます。
- ・訪問看護の現状なども含めて大変わかりやすかったです。
- ・大変わかりやすく勉強になりました。
- ・地域でサポートが必要な児への介入に力を入れたいと考えてくださること自体非常に心強く感じています。
- ・退院した後も退院後の様子、家族の状況などもよりくわしく情報共有できる機会があると外来のほんの 20～30 分でわかること以上の関わりができるかなと思います。
- ・利用料がわかって良かった。
- ・良い機会をありがとうございました。
- ・退院カンファレンスをすることで、様々な職種が同じ目標に向かって、サポートしていくことが、大切だと改めて感じました。1 年目で、まだまだ知識不足ですが、少しずつ患者・家族の退院までのサポートができるようになりたいと思いました。《退院したら終わり》ではなく、退院先でどうやったら安心して暮らせるのか？を常に考えていきたいです。
- ・自分が受け持った子供や母の退院後の様子や、それに対しての関係機関のアプローチの内容が細かく説明されたため分かりやすかった。入院時のことだけでなく、退院後のために自分に何ができるかということを考える機会になった。
- ・訪問看護師さんと同行して訪問できたらよいと思いました。
- ・実際のリハビリの様子が動画でみれたのが良かったです。
- ・とてもよくわかりました。遺伝診療部の活用も、今後ご検討いただけますとありがたく思います。
- ・訪問看護と病院の連携の実際を知る機会をいただきありがとうございます。また、是非参加させてください。
- ・専門外の分野だったので興味がありました。今後もこういった勉強会があれば参加したいと思いました。
- ・退院した子どもが、どのように在宅で過ごしているのか、ご家族がどんな工夫をしているのか学ぶことができて良かったです。貴重なお話ありがとうございました。
- ・自宅での児の様子や、訪問看護を導入するにあたって必要な準備を知ることができた。
- ・退院して、不安を抱えるご家族へのフォローを具体例を通して、非常に勉強になりました。
- ・退院後の児と家族の様子を聞いたのは、退院支援を考える上で参考になると思います。
- ・在宅酸素のみの場合などの医療ケアが比較的少ない場合でも疾患に関係なく訪問看護を利用できることがわかり、自分が思っていたよりもっと多くの人利用できるとわかった。
- ・とてもわかりやすく、実際にどんな介入をしているのかわかって良かったです。
- ・リハビリまでしてもらえるステーションがあるとは知りませんでした。活用したいです。
- ・連携の大切さを感じました。

- ・事例を通してお話が聞けたので、訪問看護の内容や退院後の家族の様子が分かり、とても勉強になりました。
- ・今後退院支援に関わる際参考にさせていただきたいと思います。
- ・もう少し小児を受け入れられる訪問 ST が増えるといいなと思いました。
- ・とてもよかったです。
- ・病棟で指導したことが、退院後の生活に結びついていることを初めて実感できる話が聞いて良かった。
- ・退院指導頑張ろう！という活力にもなりました。ありがとうございました。
- ・大きな問題がある子だけが支援の対象ではないと知れて、これからもっと活用していけたらと思いました。

5. 今後の「子どもの在宅移行支援勉強会」でやってほしいテーマ、知りたいこと

- ・在宅医療支援を要する患児の学校側の受け入れ
- ・教育現場と医療現場の相互理解
- ・県内の訪問看護ステーションで小児をみるのが可能なステーションの数や、地域によって差があるのかとか…
- ・訪問の方々のきめ細かい対応がよくわかりました。児だけではなく母親、家族のフォローもして下さり、きっと心強く思っている事でしょう。課題にあったように病院と訪問看護の連携をさらに密にしていく必要があると思いました。
- ・行政のこととか、お金のこととか…
- ・事例検討会。
- ・NICU でのリハの介入について、長野こども HP のリハスタッフから話を聞いてみたい。遠くからのゲストは難しいかもしれませんね。
- ・小児訪問を受け入れている機関、施設の紹介
- ・在宅支援の必要な子ども、家族の見極め方
- ・うまく介入できた事例ばかりなのか。介入がうまくいかなかった症例があれば、その検討をやってもいいのかもしれないと思いました。
- ・育児困難な事例の介入の実際をうかがいたいです。
- ・在宅に移行する上で、病院でしてほしいこと、求めることを知りたいです。
- ・公費助成について
- ・在宅で過ごしている親御さんからも話を聞いてみたいです。
- ・今回のようなケース紹介は、励みになります。
- ・小児特有の手続き、助成などの内容について知りたい。どんな時どんな公的扶助をうけることができるのか。
- ・小慢などお金関係のこと。制度など。